

## 東町地域のルート検討について

### 1 これまでの意見

東町地域のルート検討について、前回の令和2年度第3回会議資料での整理内容は以下のとおり。

#### (前回会議の再掲)

##### 1) 現在の状況

- ・ルート検討における基本条件のうち「使用する車両」については、基本方針4「持続可能な運行形態・サービスの提供」に基づき、現有車両でサービスを提供することを基本として整理している（現在の使用車両はポンチョ7台・ハイエース2台（いずれも予備車1台を含む））。
- ⇒ 野川・七軒家循環は、幅員等の道路事情からポンチョ車両による運行は難しいため、再編後も現在と同様にハイエース車両を使用することとし、それ以外の地域においては、ポンチョ車両による運行を前提としてルート案の整理を進めてきたところである。
- ・東町地域においては、道路幅員や運行上の安全面、騒音・振動・交通危険の改善要望等から、ポンチョ車両が運行可能な道路が限られており、効率的なルート案の設定が困難となっている。
- ⇒ 東町1丁目・5丁目への運行については、令和2年第1回会議において、踏切における安全面とルートの効率性から、ポンチョ車両による運行は難しいと整理している。
- ・上記に加えて、東小金井南口商店会より、令和2年11月16日付で要望書が提出され、ポンチョ車両で「くりやま通り」を運行することは避けていただきたい旨の要望をいただいている。

##### 2) 今後の検討事項

- ・東町地域においては、この間、基本方針等に基づきポンチョ車両による運行を前提としてルート案の検討を進めてきたが、東町における道路状況、騒音・振動・交通危険の改善要望、さらに東小金井南口商店会からの要望を受け、ポンチョ車両での効率的なルート案の設定が困難であることから、CoCoバス・ミニ（ワゴン車両）の運行・導入可能性について検討を行う。
- ・導入可能性の検討に当たっては、以下の課題について整理を行う必要がある。

#### <現時点において想定される課題・整理事項>

- ・CoCoバス・ミニ車両の運行必要性、有益性、課題改善可能性の確認
- ・基本方針との関係や整合性の整理
- ・CoCoバス・ミニ車両で運行した場合の乗り残し発生可能性
- ・CoCoバス・ミニ車両を追加する場合の現行車両（ポンチョ）の取り扱い
- ・CoCoバス・ミニ車両を運行する場合の運行事業者、運転士、車両、車庫等の確保の可能性
- ・他の地域におけるCoCoバス・ミニの運行必要性、運行要望に対する整理

前回の令和2年度第3回会議における指摘事項は以下のとおり。

| 分類                  | 指摘事項  |
|---------------------|---|
| 各要望を踏まえた東町ルート検討について | <ul style="list-style-type: none"> <li>東町2丁目は高齢化が高く運行を望む要望と、富士見通りと農工大通りの間を通らないで欲しいという要望が上がっている。<u>東町の住民の皆さんがどういったルートを通してほしいか、具体的な案を示していただいた方がよい</u>のではないかと。(平野委員)</li> </ul>  |
|                     | <ul style="list-style-type: none"> <li><u>東町の方を含めて、意見交換会をされた方がよい</u>のではないかと。(池内委員)</li> </ul>   |
|                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方はどういう移動手段が必要と思っているのか、地域としての考え方も必要であると思う。<u>ガイドラインの実証実験として、ガイドラインの作成と議論を並行して進めていただく</u>ようなことも検討していただきたい。</li> <li>ある程度の方向性が決まらないと先へ議論が進まないで、どのような仕組みの中で地域と話し、議論をしていただくか。<u>CoCoバス・ミニを導入した際の課題を整理して議論ができるように整理していただきたい</u>。(会長)</li> </ul> |
| CoCoバス・ミニの導入について    | <ul style="list-style-type: none"> <li>大きい車両では危険だからとCoCoバス・ミニを導入しただけでは、<u>野川・七軒家循環と同様に乗り残しの懸念</u>がある。慎重に検討をしていただきたい(橋岡委員)</li> </ul>  |
|                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>CoCoバス・ミニは車両が小さいので、乗車定員の関係上どうやっても赤字になる。<u>財政負担も含めて方針を示して</u>いただきたい。(青木副会長)</li> </ul>  |
|                     | <ul style="list-style-type: none"> <li><u>運行の担い手の問題</u>もあるため、本当に可能かどうかを整理していただきたい。(会長)</li> </ul>   |

## 2 対応方針

今後の対応方針について、以下のとおり整理した。

### 1) 検討の方向性

- 現状、東町の検討においては改善要望に対応しつつ不便地域を解消するためのルートが確保できない状態である。一方で、今後、課題整理が必要ではあるものの、車両サイズを小さくすることで、地域要望に対する改善が見込まれる。
- こうした状況と、地域公共交通会議及び市議会からの意見を踏まえ、東町地域における要望等の改善と地域住民の合意形成を図るためには、地域住民同士の協議が効果的であることから、東町においては地域懇談会を実施せず、他地域の検討と切り離して「地域住民が参加する会議体（以下、「地域会議」と呼称）において整理・検討する手法」により検討を進めることとする。
- また、東町以外の地域については当初の予定どおり地域懇談会を開催し、地域公共交通会議で検討した再編ルート案を提示して議論する。

### 2) 検討組織(地域会議)について

#### (1) 地域会議の構成と各者の役割

地域会議の構成と、実施にあたっての各者の役割は、以下を想定している。

- 小金井市 : 関係資料の作成や議事まとめ等、開催に係る事務全般
- 地域からの参加者 : 東町地域の課題・ルート案について議論・検討
- 進行役 : 議論の司会・進行（進行役の人選は現在検討中）
- オブザーバー : 専門的な見地から、議論・検討における助言を行う
  - 当会議会長 : 地域公共交通会議の考え方やこの間の議論を踏まえた助言 等
  - バス運行事業者 : 乗合バスを運行する上での法令上の規定や留意事項等の助言 等

#### (2) 地域からの参加者の募集方法

要望書の提出者に加え、東町地域の居住者や、現行の CoCo バス東町循環利用者の意見を反映するため、以下の①～③の区分にて、市より参加を依頼する。

- ①当会議への要望書の提出者 : 3名（各要望者の代表1名）
- ②東町地域の町会・自治会 : 13団体（各町会・自治会の代表1名）
- ③CoCo バス利用者（公募） : 4名程度

→上記①・②の区分以外の東町居住者・東町循環利用者を対象

→市報、市 HP、東町地域の公共施設・CoCo バス車内への掲示等により周知・募集

### (3) 地域会議の会場について

会議の参加者は主として東町地域居住者であるため、会場は東小金井駅開設記念会館（マロンホール）、東センターなどの東町地域の公共施設を予定する。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会議当日の参加者数は会場収容人数の半数以下とすることとしており、予定している会場の収容人数は以下のとおり。

- ・東センター（集会室 A・B）：会場収容人数 60 人→最大 30 人
- ・マロンホール（ギャラリー）：会場収容人数 54 人→最大 27 人

地域からの参加者（20 名程度）に進行役、オブザーバー、事務局の人数を加えると会場収容人数相当になることが見込まれており、会議の傍聴は受け付けないこととする。

なお、地域会議の資料等に関しては地域公共交通会議での報告及び資料公開により公表を予定する。

### 3) 今後の検討の流れ

- ・ 今回の地域公共交通会議において、東町の検討手法について合意を頂いた後、参加者の選定や開催時期・回数等については市に一任いただき、市より、東町の要望書の提出者、地域団体等へ参加依頼を行い、地域会議を開催する。

※ 現時点では、地域会議を 3 回程度開催し、半年程度で議論を行うことを想定

- ・ 地域会議での議論内容や協議状況については、適宜、地域公共交通会議に報告する。
- ・ 地域会議では、地域要望を踏まえた現状の課題や、これまでの検討内容等を説明した上で、再編基本方針及び運行基準を踏まえ、地域住民同士で課題等の整理を進めることで合意形成を図り、地域住民の意向を反映したルート案の検討を行う。
- ・ 地域会議の最終的な検討結果（ルート案）については、地域公共交通会議において、再編基本方針や市域全体の公共交通の状況を踏まえて、ルート案として決定する。

※ 地域会議へ参加いただけない方には、地域会議の出席者でルート案を検討していくこと、地域会議の検討結果を尊重することに合意をいただく。

※ 「地域会議での議論を行わない」という東町地域住民の姿勢が示された場合は、他地域の整理と同様、地域公共交通会議において議論し、地域懇談会の実施によりルート案の整理を進めていく。

今後の検討の流れを整理したフロー図を以下に示す。

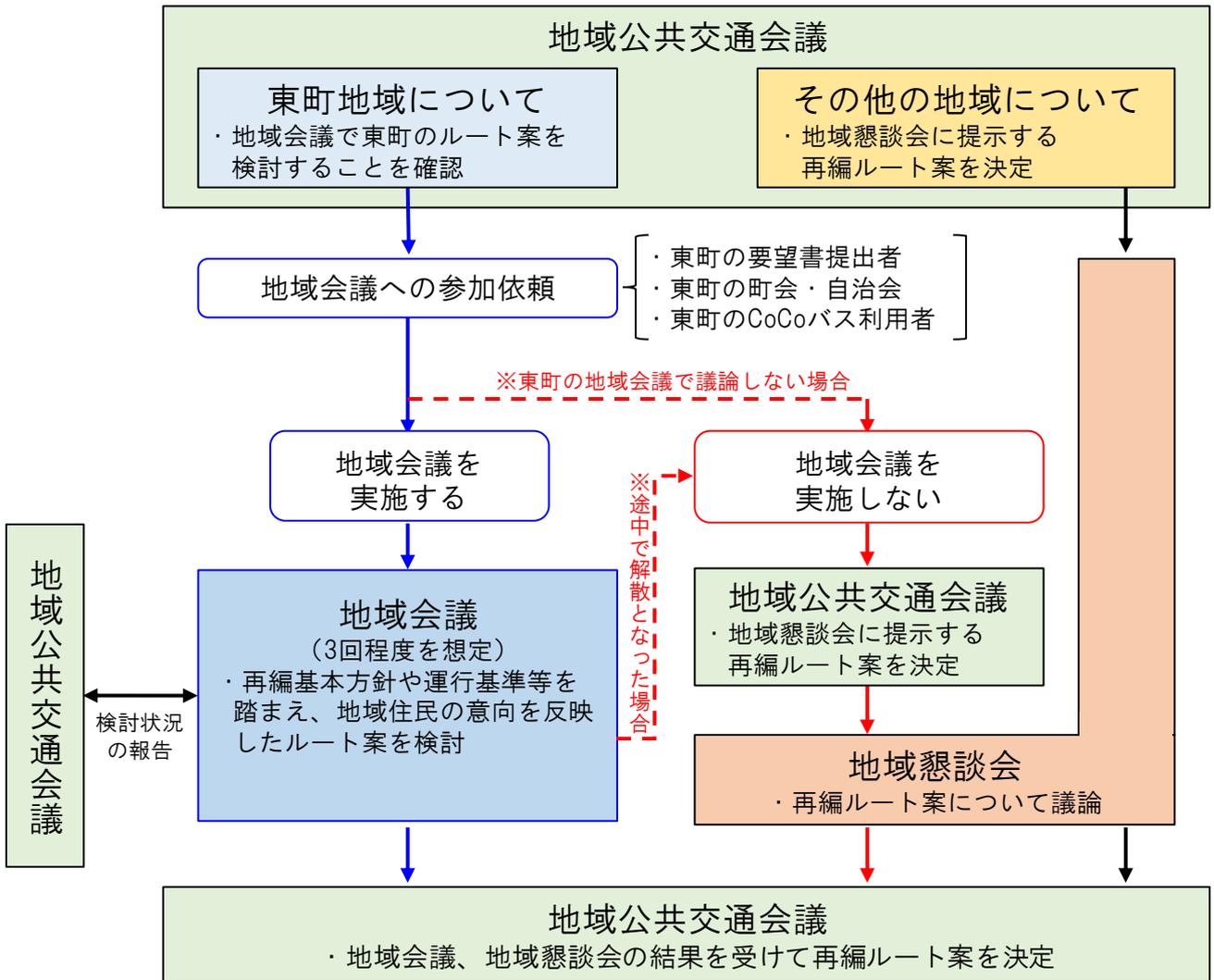


図 今後の検討フロー

## 2.2 事業者の対応可能性

- 現在、CoCoバス東町循環を運行している事業者（京王バス）及び CoCoバス・ミニを運行している事業者（つくば観光交通）に対し、東町地域における CoCoバス・ミニ（ワゴン車両）による運行の可能性を確認した。

下表はヒアリング時点（令和3年1月末）の各事業者の状況であり、再編の時期によって、各事業者における状況が変化する可能性があり、現時点における参考として示す。

| 課題等         | 京王バス   | つくば観光交通  |
|-------------|--|--|
| 運転士の確保      | <ul style="list-style-type: none"> <li>1台運行の場合、現在の人員体制（現在の東町循環の人員を補填）で対応可能</li> <li>2台運行の場合は、新たに運転士確保が必要。</li> </ul> ⇒今後の運転士不足の状況や事業者における人員体制状況に鑑みて整理が必要 | 新たに運転士の確保が必要<br>⇒今後の運転士不足の状況や事業者における人員体制の状況に鑑みて整理が必要 |
| 車庫容量（車庫の確保） | ポンチョ車両に比べて車両サイズが小さくなることを踏まえ、今後の事業者における車庫容量の飽和状況に鑑みて整理が必要   | 今後の事業者における車庫容量の飽和状況に鑑みて整理が必要                         |

## 2.3 南東部地域（中町・東町）のルート検討について

ここまでの東町地域に関する検討を踏まえ、今後の再編ルート検討における南東部地域（中町・東町）の検討の進め方について整理した。

- 現在、南東部地域（中町・東町）は、中町循環と東町循環の2ルートで運行しているが、この間のルート検討においては、現行と同様の2ルートとする案、両者を統合して1ルートとする案の双方を検討していた。
- このうち、1ルート化案については、東町地域からの武蔵小金井駅結節要望に対応するものであるが、運行基準に定める運行間隔の確保や不便地域の解消、改善要望への対応等の各課題を満たすルート設定が難しい状況である。また、長大な路線となるため目的地への速達性の低下が懸念される。
- 現在の運行形態と1ルート化案の検討状況および、東町は地域会議でルート検討を進めることを踏まえ、**南東部地域は、①中町地域の路線・②東町地域の路線の2ルートとする**ことで今後の検討を進める。
- 東町地域からの武蔵小金井駅結節要望については新小金井駅付近まで中町循環を運行し、結節することで対応を想定している。

## 3 本日の会議でご意見をいただきたい事項

以下の事項についてご意見をいただきたい。

- ①東町において、地域会議を開催すること及び、その方法について
- ②東町における地域会議の開催準備（参加者選定を含む）を市に一任いただくことについて
- ③南東部地域のルート案検討に関し、中町地域と東町地域を切り離して議論することについて
- ④東町以外の地域の再編ルート案を、これまでの予定と同様に地域公共交通会議と地域懇談会で整理していくことについて